

委員会報告

2016～2017年度

No.1

第3回

委員会名

クラブアクティビティ活性化プロジェクト委員会

委員長名

L 伊賀 保夫

開催 日時	2016 年 10月 07日 金曜日 16時 00分 ～ 17時 45分					
開催 場所	銀座(東京都中央区銀座7－4－14－3F)					
出席 者	○	L 伊賀 保夫 委員長	●	L 葛西 智子 副委員長	×	L 須藤 陽子 副委員長
	○	L 内田 嘉人 副委員長	○	L 関 飛雄一 副委員長	○	L 林 敦美 担当副幹事
	○	L 松葉 健 委員	×	L 松戸 健周 委員	●	L 渡邊 宏 委員
	○	L 今井 龍司 委員	×	L 板垣 元 委員	×	L 梶原 浩三 委員
	●	L 吉村 剛 委員	○	L 村上 万里 委員		
	●	L 阿部 かな子 アドバイザー				
	出席オブザーバー					
○:委員会・懇親会出席 ●:委員会出席・懇親会欠席 ▲:委員会欠席・懇親会出席 ×:委員会・懇親会欠席						
次 第	司会・開会・進行:副委員長 L 葛西 智子					
	1	委員長挨拶				
	2	議事・議題				
	3	次回委員会開催確認				
	4	その他				
	5	閉会				
	6					
	7					
議 題	審議経過事項の概要					
	1	委員長挨拶 委員長 L伊賀保夫				
		資料確認 副委員長 L関飛雄一				
	2	議題1. 前回の議事録確認				
		議題2. 今月の委員会活動目標				
		【10月目標】委員会における個々の役割を理解する				
		議題3. アクティビティ勉強会について				
		開催概要等の確認 (関 副委員長より)				
		①案内文				
	・案内文(2016年9月23日付)の確認					

議 題	審議経過事項の概要	
		・案内文はキャビネット事務局を通じて各クラブに配布済み
		・案内文には「15時解散予定」とあるが、実際には16時30分頃解散になる見込み
		⇒参加予定者には事前に告知しておいた方がよい
		⇒関Lが参加を呼びかけたメンバーには伝言済
		②勉強会を通じて学ぶべきポイント
		・障害者支援アクティビティの全体的な流れ
		・障害者や社会福祉協議会やその他のNPO団体との信頼関係の構築
		・障害者支援活動におけるライオンズメンバーの役割
		・障害者支援活動を継続的にやってきた荒川LCの知識経験
		・手話の基本的事項
		③当日のスケジュール・役割分担
		・タイムスケジュール表(2016年10月7日付)を確認
		・議事メモ(2016年10月7日付)を確認
		・受付は須藤L・渡邊Lが担当
		・第1部勉強会の司会は葛西Lが担当
		・第2部勉強会の司会は関Lが担当
		・第2部勉強会の閉会挨拶は内田Lが担当
		④懇親会
		・会場近辺の中華料理店で懇親会を開催
		・ライオンズメンバーの会費は3000円
		・出欠は勉強会当日に回答すればよい
		⑤その他
		・当日は自クラブのジャンパー等を着用することが望ましい
		・晴天時は帽子を着用して欲しい
		・自クラブのジャンパー等がない場合は荒川LCのジャンパーを借りれるか確認する
	議題4. 10月29日(土)薬物乱用防止大パレードについて	
		①開催概要の確認
		②各委員会の役割
		・委員会からの出席者は運営のお手伝い、各クラブからの出席者は沿道応援
		・役割分担の詳細はまだ確定していないが、近日中に確定する予定
		③100周年記念誌への広告協力
		・前回委員会において、委員長以外の各メンバーは1000円負担することを決定
		・今回委員会までの間に関L、須藤L、内田L、今井L、松戸Lが1000円支払
		・今回委員会において、阿部L、葛西L、林L、渡邊L、吉村L、村上L、松葉Lが1000円支払
		・広告内容についてライン等でアイデアを出し合う(サイズはA4用紙の1/4)
	議題5. アクティビティカレンダーの作成について	
		①前回からの動き(報告)
		・9月26日(月)IT委員会にて提案し、承認を得た(伊賀L)
		⇒Googleカレンダーをライオンズで使うこと等の責任等をキャビネットと握る必要有

議 題	審議経過事項の概要	
		・10月4日(火)幹事団定例会にて提案し、了承を得た(伊賀L)
		⇒10月中旬の委員会報告のウェブサイトアップに併せてリンクを貼る方向
		②今後の動き(案)
		・330地区のホームページからアクティビティカレンダーを開くことができるようにする
		・各スケジュールをどのように把握して追記・修正していくかを詰める必要あり
		(例) キャビネット主要行事 : キャビネット事務局/林副幹事を通じて入力
		委員会・セミナー行事 : 指導力育成委員会との情報共有
		クラブアクティビティ : CAP委員会にて全クラブへ文書発進をして取り纏め
		・今期のスケジュールについては、現時点で把握できているものを入力
		・来期のスケジュールについては、来期の委員長・幹事等の予定者が決定することから、
		その決定内容についての情報をできるだけ速やかに収集して入力
		⇒クラブアンケートを活用
		議題6. 今期CAP委員会の案件について
		①コンシェルジュ(相談依頼)実績
		・赤羽LC 岩下幹事からの相談
		5月19日CN50周年アクティビティに関し、北区でも貧困の子供達の支援をしたい
		・六本木LC 渡辺会長からの相談
		地域での薬物乱用防止教室開催について、どのように奉仕先を見つけたらよいか
		・セイシンLC 大塚公彦Lからの相談
		2月26日東京マラソンに関し、CAP委員会の協力を得て50名前後のボランティアスタッフを募集したい
		②提案案件
		・ミャンマー事業
		東京LCが11月下旬にヤンゴンへのパソコン寄付贈呈式に出席
		福岡LCがヤンゴンにて来年新規クラブを起ち上げる
		東京葵LCが戦没者墓苑アクティビティをヤンゴンの墓苑と絡めて進める方法を検討中
		・100周年事業委員会
		4事業についてMy LCIの登録が徹底されていない
		登録が徹底していない理由として、事務的な問題とアクティビティ不足の2つが考えられる
		アクティビティ不足が理由であれば、CAP委員会が連携し、未登録クラブへの合同アクティビティ推進等を行うことにより、多くのクラブを登録完了状態にすることができる
		どのクラブが未登録であるかを把握することも重要
		⇒クラブアンケートを活用
		・タイでの薬物乱用防止教室の実施
		主催をCAP委員会として検討中
		香港OSEALフォーラムにて現地メンバーと情報共有した上で、進め方について協議
		海外ボランティアに興味のあるメンバーに自由に参加していただき、クラブを超えた幅広い奉仕活動を実践 ⇒ 会員増強にもつながる

審議経過事項の概要		
議 題	③クラブアンケートの活用	
	・各クラブのアクティビティについて現状を把握するとともに、アクティビティカレンダーを作成するための資料としたい	
	・昨年度に作成したクラブアンケート結果も参考にしながら、誰もが一覧で330-A地区クラブのアクティビティを把握できるようにしたい。	
	・そのためにはアクティビティの分類方法を工夫して整理することが重要 (例) 目的と手段に分けて整理、委員会の分類に沿って整理など	
	・アンケートでは各クラブが実施しているアクティビティを羅列して回答してもらう その後、CAP委員会において、回答結果も踏まえ、より良い分類方法を検討して整理する	
	・まずは伊賀委員長がアンケート用紙ドラフトを作成する。 それを踏まえ、各委員が意見を出し合ってアンケート用紙の内容を確定させる	
	・10月29日のパレードが終わった頃にアンケートを実施する段取りで準備を進める。	
	その他	今後の委員会開催予定
		11月7日(月)、12月2日(金)
事務連絡		
次回開催日時場所	2016年 11月7日 月曜日 16時00分 ～ 17時30分 銀座(東京都中央区銀座7-4-14-3F)	
作 成 者		
L松葉 健		